



政友会 水谷 進 議員

- ①神戸中学校の跡地利用について
- ②防災について
 - (1)緊急地震速報の導入計画について

質問① 平成22年度に移転する神戸中学校の跡地は、次のような利用方法ができるのではないかと。(1)体育館を地域スポーツ振興の為に利用できないか。(2)校舎の一部を市民活動拠点施設として、利用できないか。(3)グラウンドを水と緑の公園として利用できないか。(4)災害時での緊急避難場所として有効である。また、ドッグラン等他の要望もあり、売却の結論を急がず、地域住民の意見や要望も聞くべきである。

答弁① 基本的には新神戸中学校の改築費用に充てるという考えである。しかし、関心が高いと認識し、地域の方々に対しては、説明や意見を聞くなど意見交換ができる場を作っていきたい。

質問② 緊急地震速報の導入を至急すべきと思うとその計画はあるのか。また、「東南海地震」の受信予想時間はどれくらいか。

答弁② 来年4月より小中学校より各1校、公民館から1館、文化会館や市庁舎など計5施設で試験的に運用し検証して、マニュアル作りをする。「東南海地震」では、気象庁よりの情報では、鈴鹿市へは30秒前に信号が到達すると確認している。



すずか倶楽部 南条 雄士 議員

- ①モータースポーツのまちづくり
2009年F1再開に向けたまちづくりについて問う

質問①(1) 経済効果を踏まえたモータースポーツ関連予算の増額は。(2)公共交通機関への直通シャトルバス、公共用地を利用したパーク&ライド、道路標識に鈴鹿方面の表示を増やす等、周辺整備について。(3)来訪者に対する職員の受け入れ態勢や、県・周辺市町との連携について。(4)鈴鹿市民が一番大切であるという認識に立ち、モータースポーツに関する市民特典を用意しては。(5)市内産業活性化のため、特産品等の土産品にF1限定仕様を設ける

ことを生産者に提案してみても。(6)鈴鹿市を売り込む格好の材料である鈴鹿ナンバーを、鈴鹿市役所で取得できないか。

答弁①(1) 更なるモータースポーツ活性化のための施策を進める必要があり、庁内において調整中である。(2)近隣市町等関係機関との連携を図り、主催者等と検討する。パーク&ライド用地として鈴鹿川河川緑地等を検討している。道路標識は関係各団体へ要望する。(3)周辺市町や三重県の協力を得ながら、情報発信に努める。(4)新たなF1開催という意識で、鈴鹿サーキット等と協議する。(5)F1を題材にした土産品の創出について、関係機関・生産者と協議する。(6)『新たな地域名表示ナンバー連絡協議会』で、出張交換ができるように提案する。



緑風会 彦坂 公之 議員

- ①燃料電池実証試験について
- ②「災害時要援護者避難支援」について

質問① 燃料電池実証試験のこれまでの取り組み成果と、今後の取り組みの方向性は。

答弁① 実証試験の成果については、本市の補助制度の実施や実証場所の提供などを取り組んだ結果、貴重なデータ蓄積など実用化の進展に役割をはたした。又、高度教育機関での人材育成をはじめ燃料電池教室開催など環境教育面でも成果があったと考える。今後の取り組みについては、燃料電池産業へ参画に意欲のある地元企業もあることから、補助制度を創設し、

三重県とも協働して新たな支援策を講じる。

質問② 災害発生時、自力で避難がむずかしい、高齢者などを、支援する「災害時要援護者避難支援」制度を早期に確立する必要があると考える。具体化に向けての取り組みについて問う。

答弁② 災害時要援護者避難支援については、内閣府から出された指針に基づき、本年6月にプロジェクトチームを発足し協議を重ねている。支援内容など具体的な項目や個人情報の取り扱いなど、今後各部門をまじえ協議し、平成20年度中に計画を取りまとめた。